

世界文化遺産景観形成支援事業 -山中湖畔地区-



【活動概要】

山中湖村では、主要な観光スポットである山中湖畔地区を中心に、周辺をモデル地区として設定しています。

地区内の周辺事業者で組織された「山中湖畔まちづくり委員会」では、「新たな看板のルール」として地区内の独自ルールを定め、山梨県屋外広告物ガイドラインに沿った屋外広告物の修景および店舗の外観修景を進めており、独自ルール及び各種規制に適合した修景事業に対し、県と村より補助金を交付します。

【平成29年度取り組み実績】3事業者

事例1：各種広告物の修景・撤去、店舗壁面の色彩変更

事例2：建植広告物の修景

事例3：各種広告物の修景・撤去、店舗の修景

【事業成果】

事例1：掲出されていた広告物の多くを撤去し、色彩を統一した広告物を必要最小限で効果的に配置することで、洗練された印象へと生まれ変わりました。

事例2：支柱を再利用・加工し、板面の高さを下げ、色彩についてはこげ茶の板面に白文字とすることで、より周囲の環境に調和する建植広告物となりました。

事例3：多数の色彩が用いられていた各種広告物の色彩をこげ茶色に統一した上で規模を縮小し、全体がまとまりのある店舗となりました。

【今後について】

平成30年度で本補助制度は終了となりますが、今後も修景事業を行う事業者を積極的に募り、他の地区の模範となる美しい景観形成の実現に向け、引き続き事業を進めて参ります。